

宗像神話

津軽三味線・能の舞コンサート

千年の
海の調べ、
姫神を
舞う

— 出光佐三の夢 —

宗像神話

津軽三味線・能の舞コンサート

千年の
海の調べ、
姫神を
舞う

— 出光佐三の夢 —

2025.1.18(土)
14:00-15:30 <13:30 開場>
会場 | 大濠公園能楽堂

津軽三味線

宮沢莉乃音・宮沢愛乃音

観世流能楽師

今村嘉太郎

津軽三味線

山口ひろし

2025.1.18(土) 14:00-15:30 13:30 開場

TICKET | チケット情報

入場料

【一般】椅子席5,500円・桟敷席3,500円【各席種、自由席】
【小中高生】1,000円【小中高生は全席自由】※小学生未満の方のご入場はご遠慮ください。

子ども招待について

宗像現代美術展実行委員会は子どもたちが本格的な芸術を鑑賞・体験等によって、豊かな心の成長を図るとともに、将来の文化芸術の担い手や観客育成につながることを願って、本公演に、18歳以下のお子さまをご招待します。詳細・お申込みは右記の二次元バーコードを読み取り、ご確認ください。
https://miare-art.com/concert2025_present/



▲ 子ども招待

販売

チケットは下記にてご購入いただけます

宗像現代美術展実行委員会チケットガイド(島田建築設計事務所)

TEL.092-722-3310(担当古島:平日10時~18時)

事前にお電話にてご連絡後、以下の方法でチケットご購入いただけます。

〈事務所窓口受取り/福岡市中央区天神〉

お電話にて詳細をお伝えしますので来店の上お支払い(現金のみ)・お受け取りをお願いいたします。

〈郵送受取り/受付期間1月10日まで〉

ご連絡いただいたお日にちより10日以内にお振込みいただき、ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

【振込先:福岡銀行 宗像支店(普)1886331 口座名:宗像現代美術展実行委員会】

※振込手数料はお客様のご負担となります。 ※チケット代金のほかに、郵送料[簡易書留:460円]が必要となります。

※チケット到着までに1週間~10日程度お時間をいただきます。

今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局

TEL.070-5416-2621 または yoshitarou0423@gmail.com

大濠公園能楽堂 TEL.092-715-2155

チケットぴあ (Pコード:530795)

電子チケット販売

その場で決済、スマホで入場も楽な電子チケット。

詳しくは、右記の二次元コード、または、下記のURLでご確認下さい。

<https://teket.jp/12173/42530>



▲ 電子チケット



※ご購入されたチケットのキャンセル・変更はお受けいたしかねます。あらかじめご了承ください。

お客様へのお願い

1. 開演後・演奏中の途中入場はお断りしています。時間に余裕を持ってご来場ください。
2. 演奏中は、携帯電話・PHS等の電源は必ずお切りください。
3. 前の座席を蹴ったり、前に身を乗り出したりの行為は他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
4. 演奏中の飲食はご遠慮ください。

ACCESS | アクセス情報

大濠公園能楽堂 福岡市中央区大濠公園 1-5



市営地下鉄でお越しの場合

大濠公園駅または唐人町駅より徒歩約7分。



西鉄バスでお越しの場合

黒門バス停又は大濠公園バス停より徒歩約5分。



▲ 詳しい場所

お問い合わせ: 宗像現代美術展実行委員会事務局

☎080-4454-7911

主催: 西日本新聞社・宗像現代美術展実行委員会

共催: 宗像市・宗像市教育委員会・宗像大社

<https://miare-art.com/>



▲ 公式サイト

MESSAGE

宗像大社は、日本神話『古事記』『日本書紀』に登場する日本最古の神社の一つであり、沖ノ島の豊かな自然のなかに神を見出した信仰から宗像三女神信仰が生まれ、その祈りや祭りは現代に受け継がれています。

千五百年以上も紡がれてきた海と神々と生きた人々の物語。本舞台では古代日本の文化形成に影響を与えた宗像の人々の祈りや息づかいを、幽玄な能と躍動的な津軽三味線の共演による芸術作品として表現します。

制作までの想いや世界遺産宗像の価値ある歴史をわかりやすく、ユーモア交えてお伝えするトークも挟んだ、楽しく心潤すひととき。どうぞご家族やお仲間と一緒に楽しんでください。

本舞台は伝統芸能を親しむことを目的とし、最終的には「むなかた」創作能として完成させるプロジェクトです。

能楽

The Three Female Deities of Munakata

津軽三味線

▼ 山口ひろし YAMAGUCHI Hiroshi

4歳で初舞台を踏む
津軽三味線を父である山口孝次、青森県黒石市にて千葉勝弘に師事
南部三味線を奥南部民謡 夏坂菊男に師事
長唄三味線を東音 菊岡裕晃に師事

1990年～1996年 津軽三味線の大会で数々の賞を受賞
1991年 ニューヨーク リンカーンセンターでの「日本祭」出演
2000年 三笠宮崇仁親王殿下の日本舞踊の伴奏を務める
2001年 東京藝術大学 大学院 音楽研究科 修了
2014年 「日本スペイン国交400周年記念」スペインツアー
「在バンクーバー日本国総領事館創設125周年記念」カナダツアー
2016年 「日本シンガポール外交関係樹立50周年記念」シンガポールツアー
2017年 「日本マレーシア外交関係樹立60周年記念」マレーシアツアー
2018年 「日本南アフリカ外交関係樹立100周年記念」南アフリカツアー
「日中平和友好条約締結40周年」中国ツアー
2019年 「オレゴン日米協会」ポートランド公演
2022年 「日本パチカン外交関係樹立80周年記念」コンサート
2023年 宗像みあれ芸術祭2023 開催記念「神迎え 海と未来をつなぐ」出演

邦楽の分野にとどまらず、様々なジャンルのアーティストとの共演も多く、豊かな音の響きやリズムをクリエイティブに表現している

津軽三味線奏者

山口ひろし

▼ 宮沢愛乃音 MIYAZAWA Anon

2012年生まれ、長野在住。姉 莉乃音、妹 詩乃音と共に、三姉妹で世界で活躍する津軽三味線奏者を目指す。
津軽三味線を山口ひろしに師事。

2022年 第2回 全国じょんから三味線協議会 石川大会小学生の部 3位
2024年 27回 津軽三味線コンクール全国大会 小学生の部 審査員奨励賞

東京大神宮での「東京宗像会」にて演奏

津軽三味線奏者

宮沢愛乃音

津軽三味線奏者

宮沢莉乃音



PROGRAM

能の舞 × 津軽じょんから節

観世流能楽師・今村嘉太郎 × 津軽三味線奏者・山口ひろしの共演

津軽三味線演奏

〈休憩〉

テーマトーク

「地域・文化・未来を見る力」

ナビゲーター sach (LOVE FM パートナリティ)

姫神の舞

出光佐三の夢／新作能「むなかた」に向けたプロローグ

能の舞とは／舞は、謡や囃子といった音楽的要素とともに、総合的な楽劇である能の大本になるものです。舞という言葉は、からだの動きを表現するだけではなく、様々な心情や情景を表す深い意味があります。能一曲を演じることを「能を舞う」と言います。広い観点からの「舞」は、音楽や動作をすべて含み込んだ能の総合的な表現活動を総称しています。

▼ 宮沢莉乃音 MIYAZAWA Rinon

2011年生まれ、長野在住。三味線の音色、日本文化の深さに惹かれ、日々練習に励む。津軽三味線を山口ひろしに師事。

2021年 第24回 津軽三味線コンクール全国大会 小学生の部 審査員奨励賞
2022年 第2回 全国じょんから三味線協議会 石川大会 小学生の部 準優勝

長野県松本市にて本格的な初舞台を踏む
第25回 津軽三味線コンクール全国大会 小学生の部 優勝
2023年 第62回 青少年みんよう全国大会 独奏の部 優勝
宗像みあれ芸術祭2023 開催記念「神迎え 海と未来をつなぐ」出演
2024年 東京大神宮での「東京宗像会」にて演奏

観世流能楽師

今村嘉太郎

